

百年の信頼を、未来につなげる

2016年3月期上期決算説明会

株式会社鳥羽洋行

2015年11月26日

証券コード：7472

- 1. 2016年3月期上期決算概況**
- 2. 2016年3月期業績予想**
- 3. 経営課題と重点施策の進捗状況**
- 4. 株主還元**



1. 2016年3月期上期決算概況

2016年3月期上期決算のポイント

当期より連結決算開始！
海外投資の成果が収穫期入り

実質ベースで増収増益！

(1) 上期の連結売上高は106億円 **(上海子会社を新規連結)**

- ◇伝導・FA関連の得意先における制御機器の需要が堅調維持。
- ◇自動化ニーズが続く中国では、FA機器需要が堅調続く。

(2) 粗利益率は15.0%

- ◇前年度の14.6%(単体)からは0.4ポイント改善

(3) フィルター(日本インテグリス)の大型商品化効果

- ◇フィルターの売上高は前年同期比倍増

部門別の事業環境

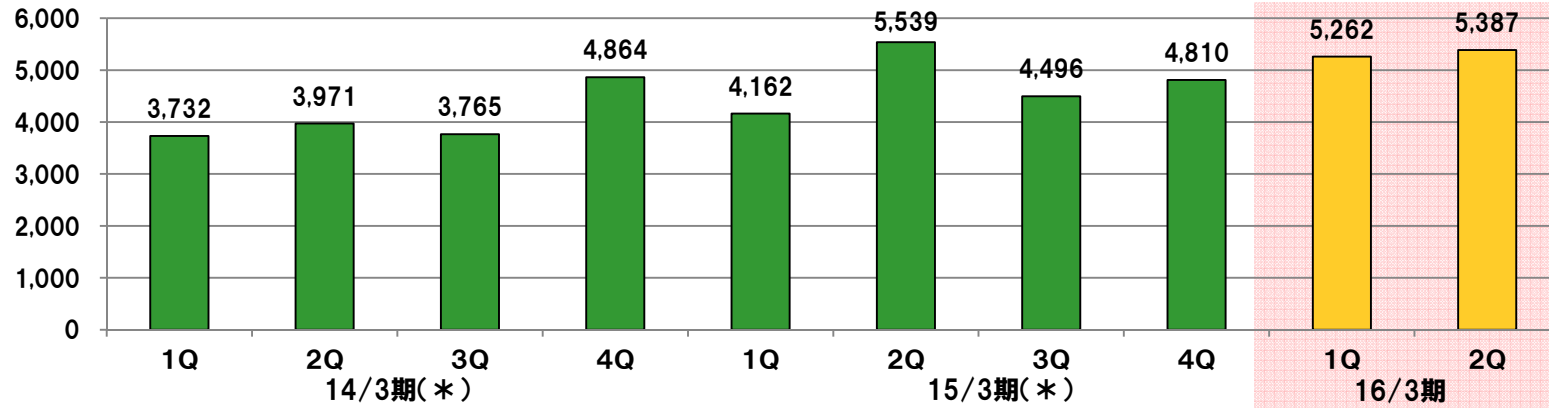
2016年3月期上期の状況

	2016年3月期上期の状況
制御機器	<ul style="list-style-type: none">● 当部門では、主力の空気圧機器においては、半導体・液晶製造装置関連の得意先の需要はバラつき。● 精密関連の得意先や物流装置関連の得意先からの空気圧機器に対する需要は、前期に引き続き堅調維持。
FA機器	<ul style="list-style-type: none">● 精密関連の得意先や包装機械の得意先における多関節ロボットの需要が堅調。● スマートフォンに関連する得意先からのレーザー溶接機の需要も堅調維持。● 近年の中国における人件費高騰のため、自動化及び省力化機器に対する需要が堅調で、単軸ロボット等の売上が貢献。
産業機器	<ul style="list-style-type: none">● ろ過フィルターが大型商品に育つ。● 電動ドライバーはデジタル機器や精密機器に関連する得意先中心に、幅広い得意先からの需要が前期に引き続いて旺盛。● クリーンルーム大型案件の売上也貢献。

四半期別業績推移

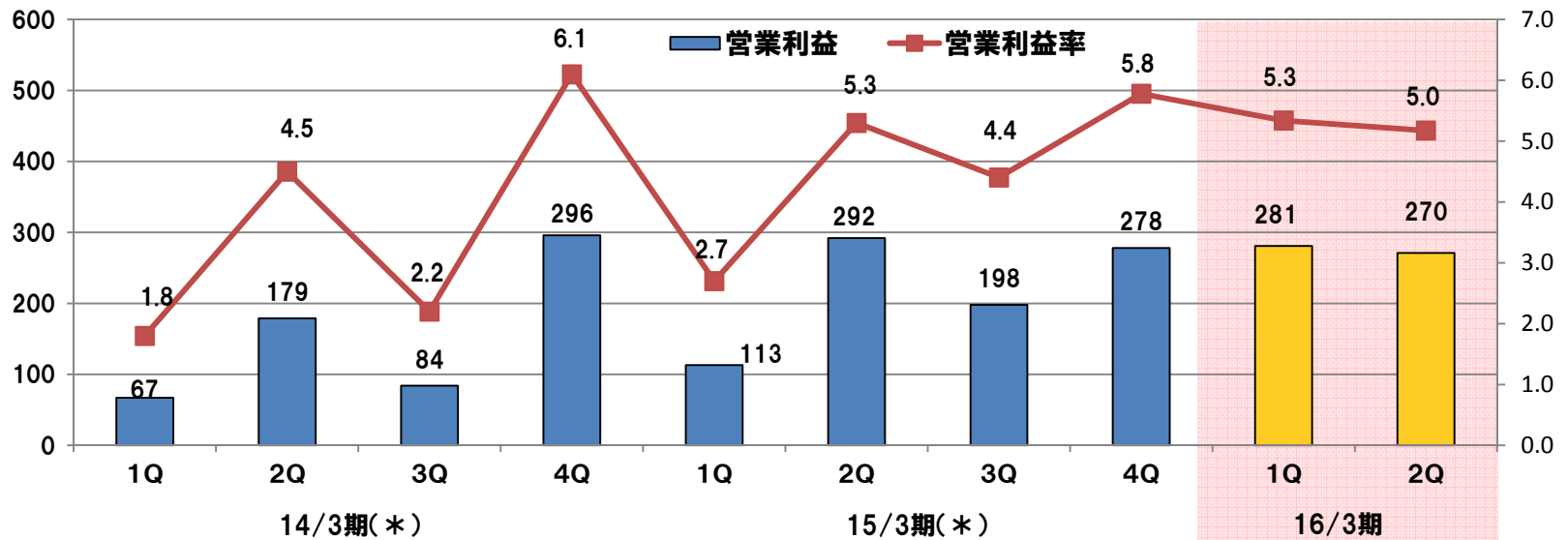
四半期別 売上高推移

(単位:百万円、%)



四半期別 営業利益/営業利益率の推移

(単位:百万円、%)



(*) 16/3期の1Qから連結財務情報を公表しているため、15/3期までは単体ベース。

損益概要

【参考数値】

(単位:百万円)

鳥羽(上海)貿易有限公司

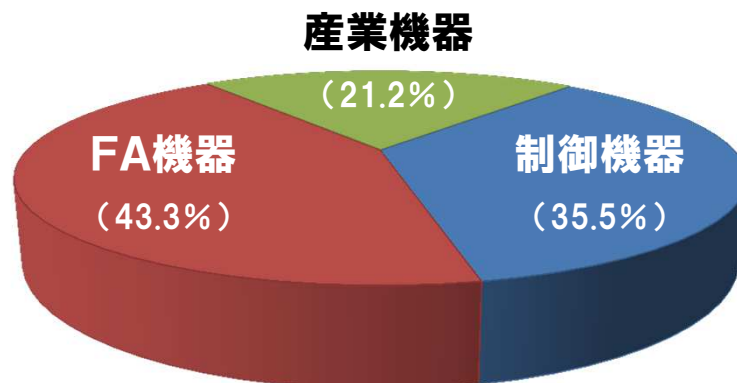
	15/3上期 (単体)	16/3 上期			16/3上期
		連結	前同比(*)	従来予想	
売上高	9,702	10,649	-	10,500	売上高 856
営業利益	406	552	-	520	営業利益 36
(営業利益率)	(4.2%)	(5.2%)	-	(5.0%)	(営業利益率) (4.2%)
経常利益	499	596	-	560	
(経常利益率)	(5.1%)	(5.6%)	-	(5.3%)	
四半期純利益	325	387	-	350	

(*) 連結財務情報公表は16/3期の1Qからのため、連結の前年同期比は記載しておりません。

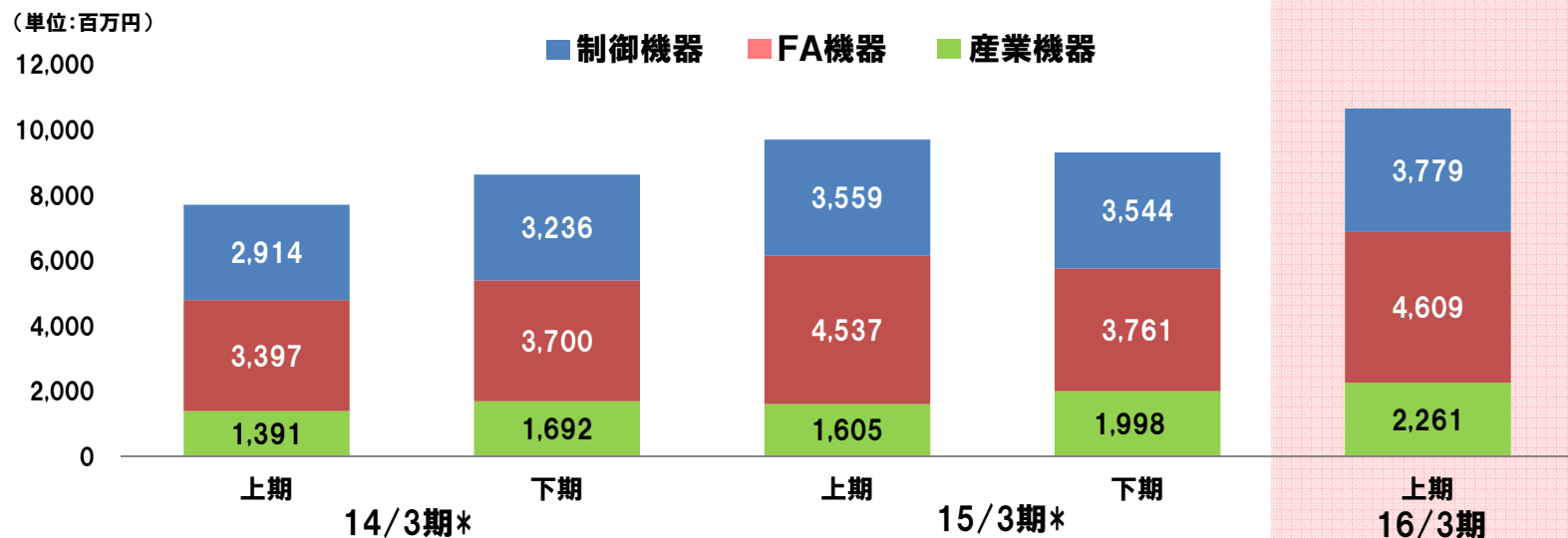
取扱商品別実績

(ご参考)

16/3上期 (連結ベース)



取扱商品別売上推移

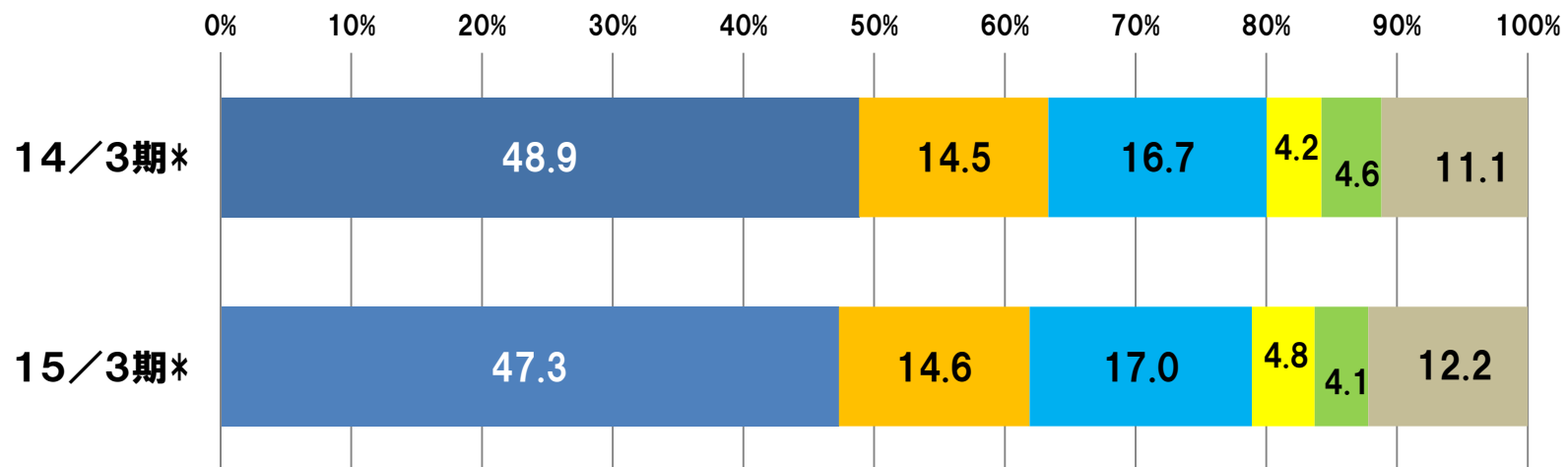
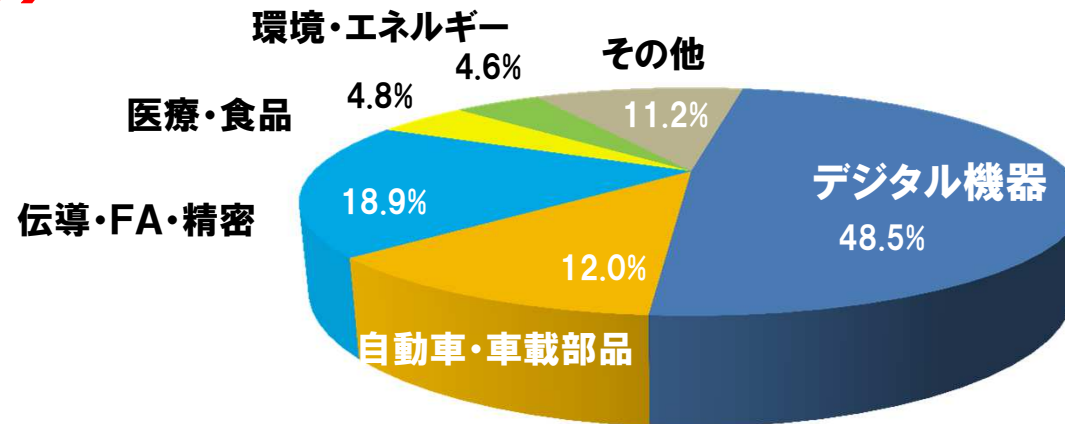


(*) 連結財務情報公表は16/3期の1Qからのため、14/3期及び15/3期は単体ベース。

販売先業種別売上構成比

(ご参考)

16/3上期(連結ベース)



■ デジタル機器 ■ 自動車・車載部品 ■ 伝導・FA・精密 ■ 医療・食品 ■ 環境・エネルギー ■ その他

(*) 連結財務情報公表は16/3期の1Qからのため、14/3期及び15/3期は単体ベース。

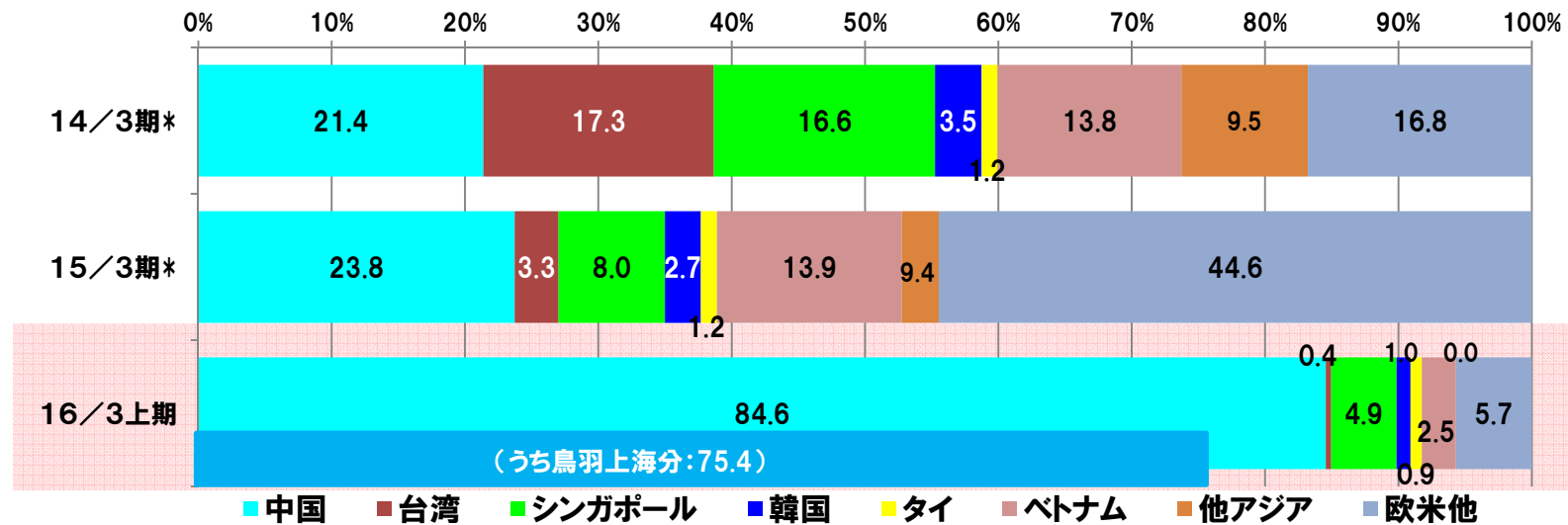
海外売上比率

(ご参考)

16/3上期(連結ベース)

海外:9.7%

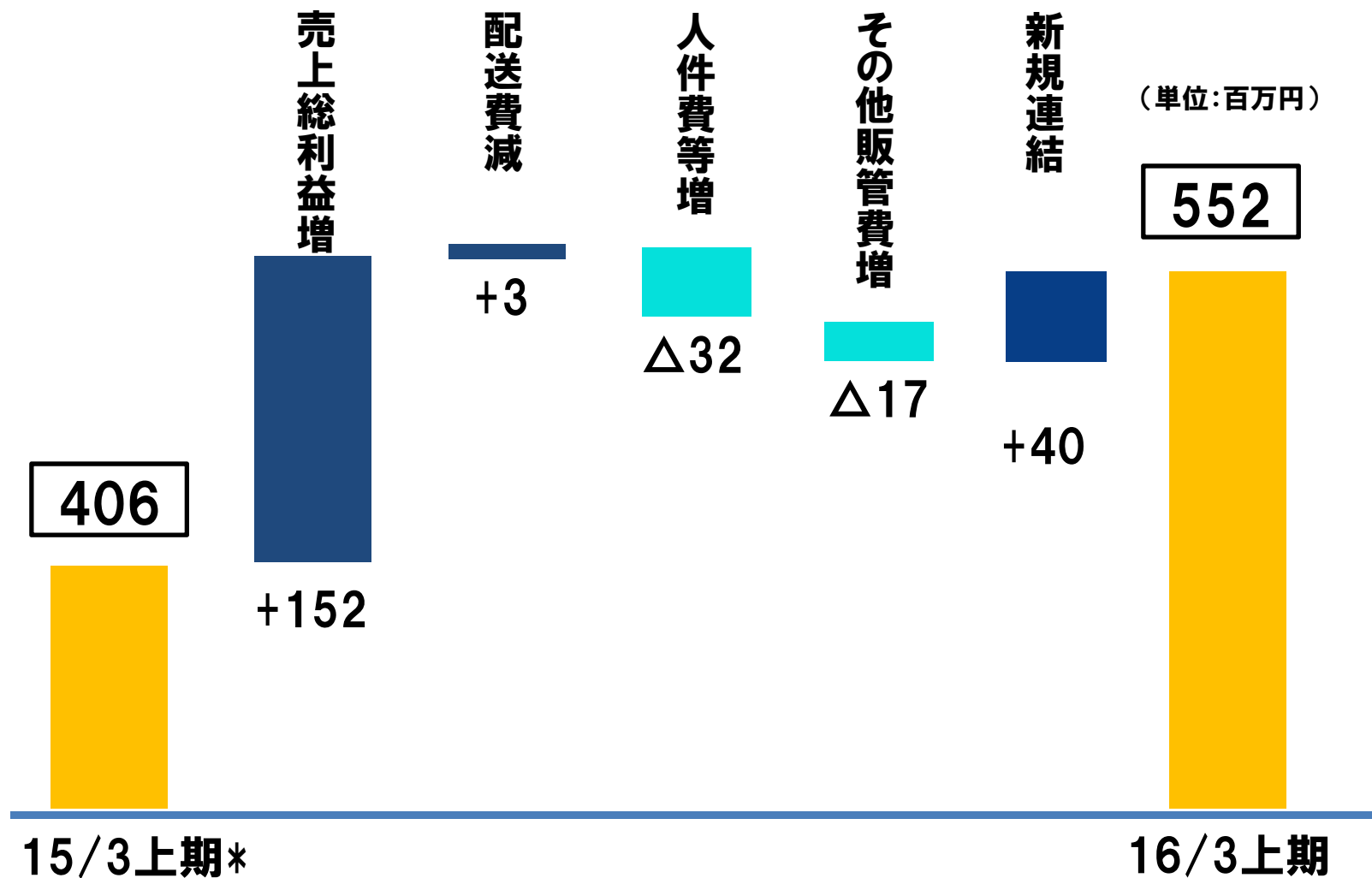
国内:90.3%



(*) 連結財務情報公表は16/3期の1Qからのため、14/3期及び15/3期は単体ベース。

連結営業利益増減分析

(ご参考)



(*) 連結財務情報公表は16/3期の1Qからのため、15/3上期の営業利益は単体ベース。

貸借対照表

(単位:百万円)

	15/3末*	構成比	15/9末	構成比
流動資産	14,600	74.5%	15,630	77.0%
現金・預金	7,125	36.3%	7,479	36.9%
受取手形・売掛金※	7,297	37.2%	7,968	39.3%
商品	78	0.4%	73	0.4%
固定資産	5,005	25.5%	4,659	23.0%
資産合計	19,606	100.0%	20,289	100.0%
流動負債	5,420	27.6%	5,954	29.3%
支払手形・買掛金	4,906	25.0%	5,448	26.9%
固定負債	319	1.6%	263	1.3%
(有利子負債)	-	-	-	-
負債合計	5,739	29.3%	6,218	30.6%
純資産合計	13,866	70.7%	14,071	69.4%
負債純資産合計	19,606	100.0%	20,289	100.0%

(※)電子記録債権を含む

(*) 連結財務情報公表は16/3期の1Qからのため、15/3末は単体ベース。

四半期キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	15/3 上期*	16/3 上期
営業キャッシュフロー	48	335
投資キャッシュフロー	228	285
財務キャッシュフロー(△は減少)	△1,025	△258
現金及び現金同等品に係る換算差額	0	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△749	367
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		285
現金及び現金同等物の期末残高	6,115	6,978

(*) 連結財務情報公表は16/3期の1Qからのため、15/3上期は単体ベース。

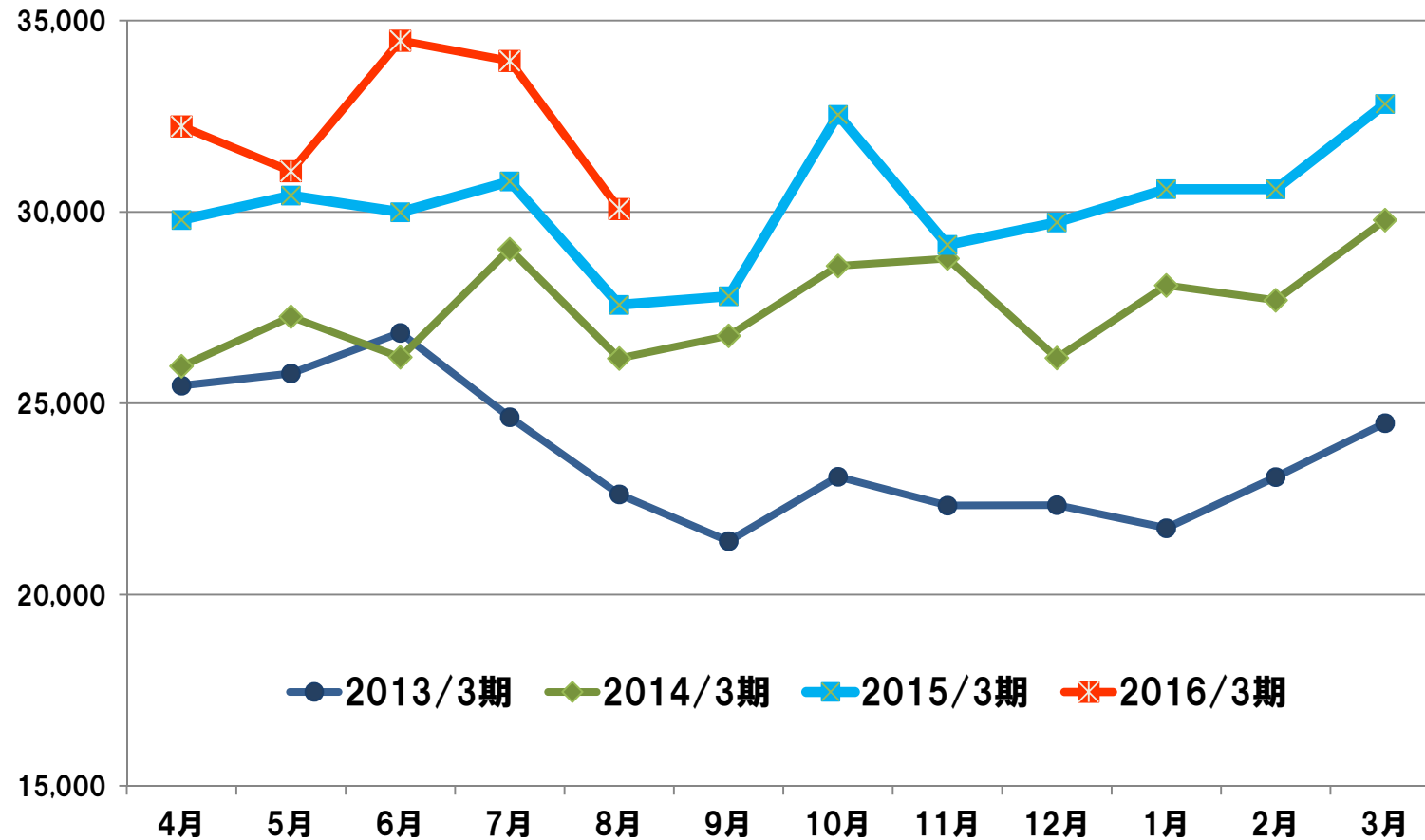


2. 2016年3月期業績予想

空気圧機器月次出荷金額推移(年度)

■ 空気圧機器の需要は堅調

(単位:百万円)



(出所) フリードパワー

得意先の設備投資動向

販売先業種	下期の設備投資予想
デジタル機器	<ul style="list-style-type: none">● 半導体製造装置関連における設備投資は慎重。● スマホ、タブレット端末向けの電子部品関連の設備投資は横這い。● 中国における電子部品関連の設備投資需要は不透明。
自動車・車載部品	<ul style="list-style-type: none">● 国内の自動車販売の不振により、国内の設備投資は低調見通し。● 得意先海外子会社向け案件（特に北米向けの設備品）に期待。● 海外自動車メーカー（HV車）向けの車載部品関連の需要に期待。
伝導・FA・精密	<ul style="list-style-type: none">● デジタルカメラ関連の設備投資は横這い。● 海外におけるプリンター関連得意先の設備投資は一服。
医療・食品	<ul style="list-style-type: none">● 医療・食品関連の設備投資需要は堅調予想。
環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none">● 従来通り、堅調続く見込み。

2016年3月期取扱商品別売上高予想

(単位:百万円)

	15/3期*		16/3期予想	
	実績	構成比	予想	構成比
制御機器	7,104	37.4%	8,000	37.2%
FA機器	8,299	43.7%	9,000	41.9%
産業機器	3,603	18.9%	4,500	20.9%
連結売上高	19,007	100.0%	21,500	100.0%

(*) 連結財務情報公表は16/3期の1Qからのため、15/3期は単体ベース。

2016年3月期業績予想

従来予想を据置

(単位:百万円)

	15/3期*	16/3期予想	前年度比 (増減率)
売上高	19,007	21,500	-
営業利益	881	1,050	-
(営業利益率)	(4.6%)	(4.9%)	-
経常利益	1,040	1,150	-
(経常利益率)	(5.5%)	(5.3%)	-
当期純利益	664	750	-

(*) 連結財務情報公表は16/3期の1Qからのため、15/3期は単体ベース。



3. 経営課題と重点施策の進捗状況

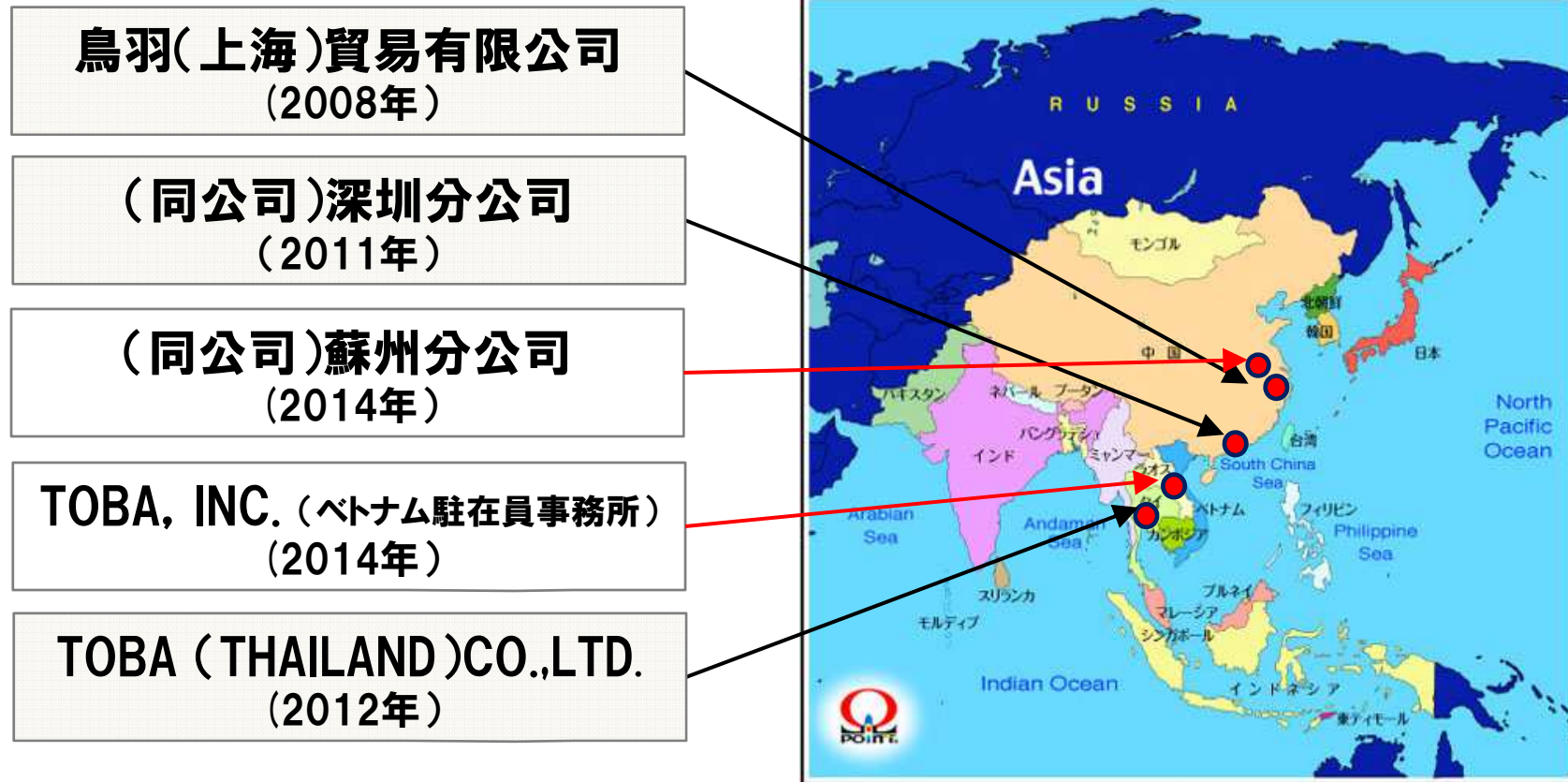
- ① **新たな成長分野の販路開拓**
 - ・マーケティング力の強化
 - ・新システム投入によるユーザー囲い込み
- ② **海外戦略の強化**
 - ・製造業における国内空洞化への対応
- ③ **次世代に貢献する有望商品の発掘**
 - ・市場ニーズの変化への対応

① 新たなる成長分野の販路開拓状況

- **自動車・車載部品関連の得意先開拓**
 - ・内外のHV車及びEV車向けの電子化ニーズ
 - ・安全システム(衝突防止装置等)装備ニーズ
- **生活に密着した(内需型)製造業の市場開拓**
- **得意先のグローバル調達への対応強化**

② 海外戦略強化の状況

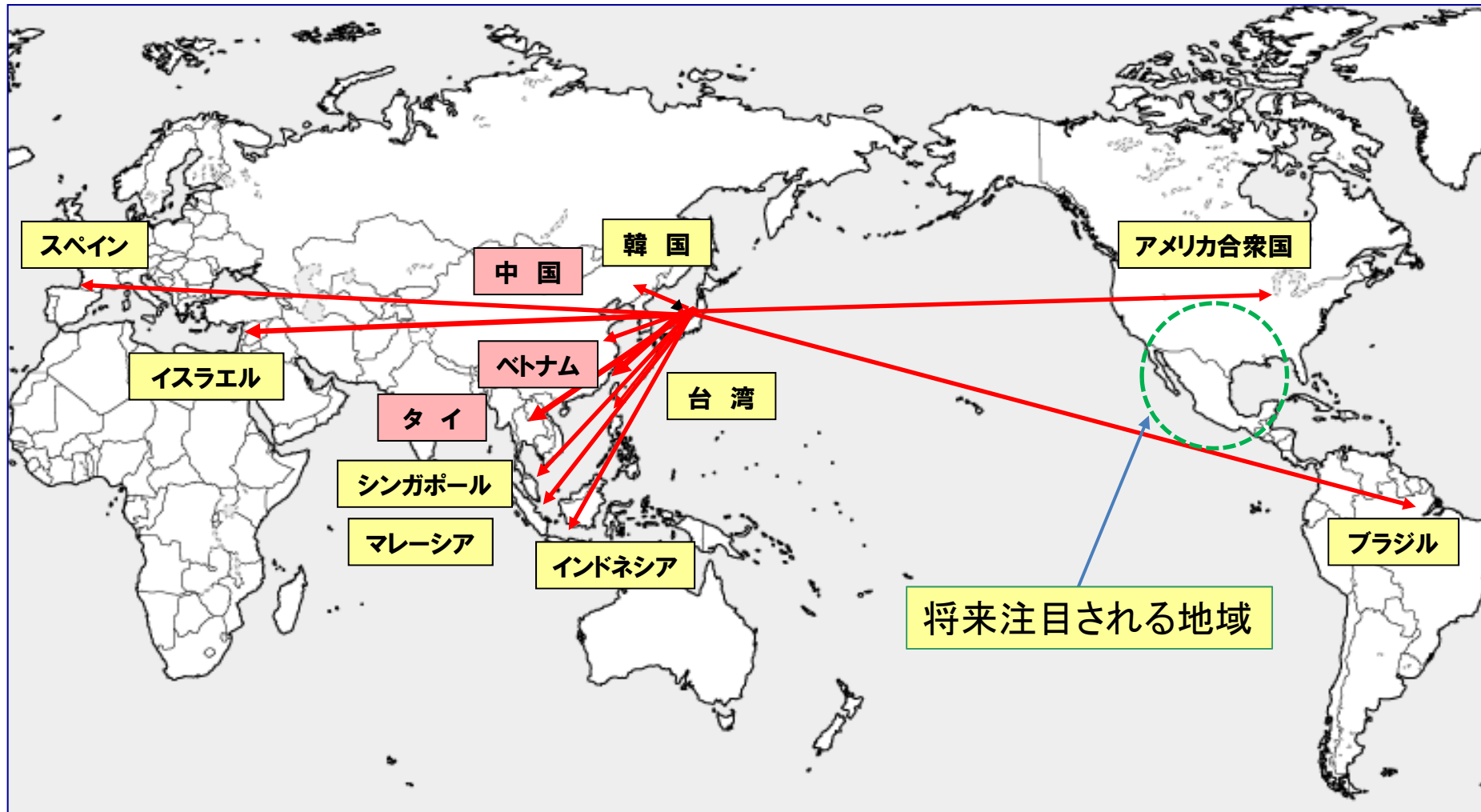
グローバルネットワーク



○海外拠点における営業力強化に向けて、留学生等の人員強化
・**H28年4月入社に向けて、**
ベトナム人1名及び中国人1名を採用

② 海外戦略強化の状況

日系企業中心に拡大する当社取引



③ 次世代に貢献する有望商品の発掘

順調に拡大する“ろ過フィルター”と“NEXTAGE”

新しいビジネスモデル対応商品

省エネ・合理化対応商品

ろ過フィルター 日本インテグリス(株)

- ・液体、ガス・エアのろ過・精製・純化技術に係る製品
- ・半導体及びハイテク産業向けに販売展開



「NEXTAGE」

THKインテックス(株)
[カワダロボティクス(株)]



2016/3期中間実績

上記2商品合計売上高 **6.3億円**



2016/3期目標

11億円超

重点施策の進捗状況のまとめ

感動を顧客・仕入先に！

- 1 有望な大口得意先の新分野の開拓
- 2 得意先の海外拠点需要取り込み
- 3 将来の収益源としての新商品の販売強化
- 4 強い社員の育成(若い社員の教育)

車載部品メーカーへの攻略

内需型有望製造業の取り込み

ベトナム駐在員事務所設立
(2014.7.23)

ろ過フィルターは大型商品化

+

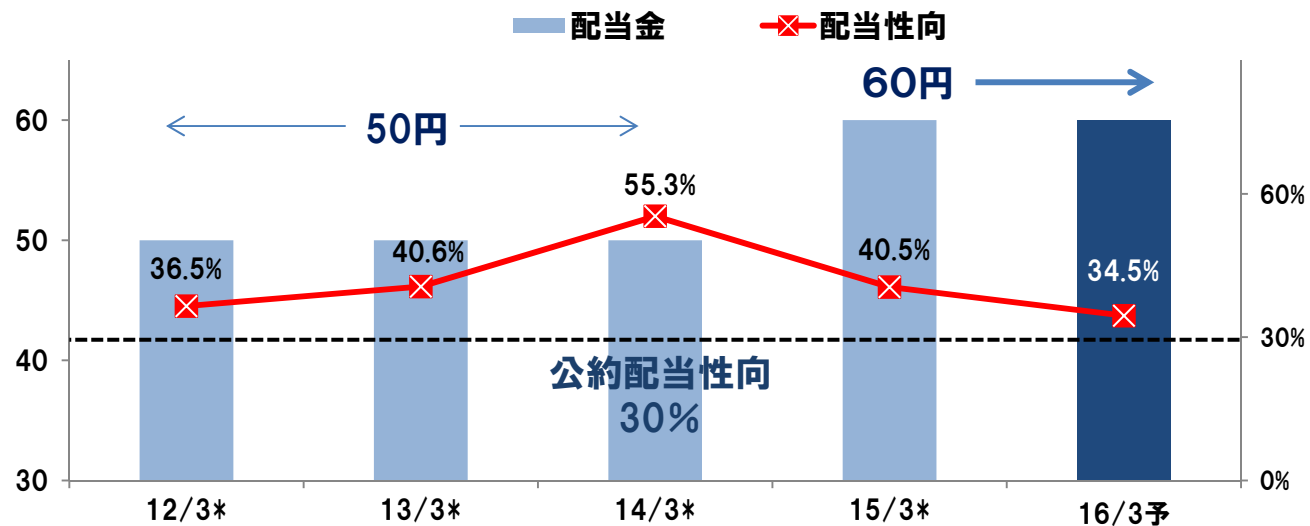
業種を問わず成長が期待できる得意先の開拓継続
高付加価値商品(装置=システム)販売の積極的推進
中国に続き、順次海外投資効果の収益貢献化を図る



4. 株主還元

株主還元

➤ 1株当たりの配当金推移



(*)12/3期～15/3期の配当性向は単体ベース

☆ 経営目標 ☆
ROE 10%

この資料には、弊社の2015年5月8日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループIR担当

住所：〒112-0005 東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

FAX番号：03-3944-4091

Eメール：kanri-01@toba.co.jp